

老人憩の家のあり方に関する  
アンケート調査結果報告書

令和5年3月  
芦屋町福祉課



# 目 次

## I 調査概要

1. 調査目的	3
2. 調査概要	3
(1) 調査対象者	3
(2) 調査方法	3
(3) 調査時期	3
3. 回収状況	3
4. 報告書利用上の注意	3

## II 調査結果

1. Q1～Q8 の回答状況	7
----------------	---



# I 調查概要



## 1. 調査目的

本調査は、町が設置する芦屋町老人憩の家（以下、「老人憩の家」という。）の今後のあり方を検討するにあたり、住民の意見を把握することにより、町としての意思決定の根拠資料とすることを目的とする。

## 2. 調査概要

- (1) 調査対象者 18歳以上の住民から年齢階層ごとに無作為抽出  
(※住民基本台帳 令和4年11月1日現在)  
【内訳】  
18歳～29歳：250人  
30歳～39歳：250人  
40歳～49歳：250人  
50歳～59歳：250人  
60歳～69歳：250人  
70歳～89歳：250人 合計 1,500人
- (2) 調査方法 郵送による調査票配布、回収調査
- (3) 調査期間 令和4年11月29日～12月28日

## 3. 回収状況

調査対象者数	回収数	回収率
1,500	515	34.3%

## 4. 報告書利用上の注意

- 端数処理の関係上、構成比（％）の計が100％とならないことがあります。
- 図表の構成比（％）は小数第2位以下を四捨五入したものです。
- 複数回答の設問（設問末尾に「※複」と記載）は、すべての構成比（％）を合計すると100％を超える場合があります。



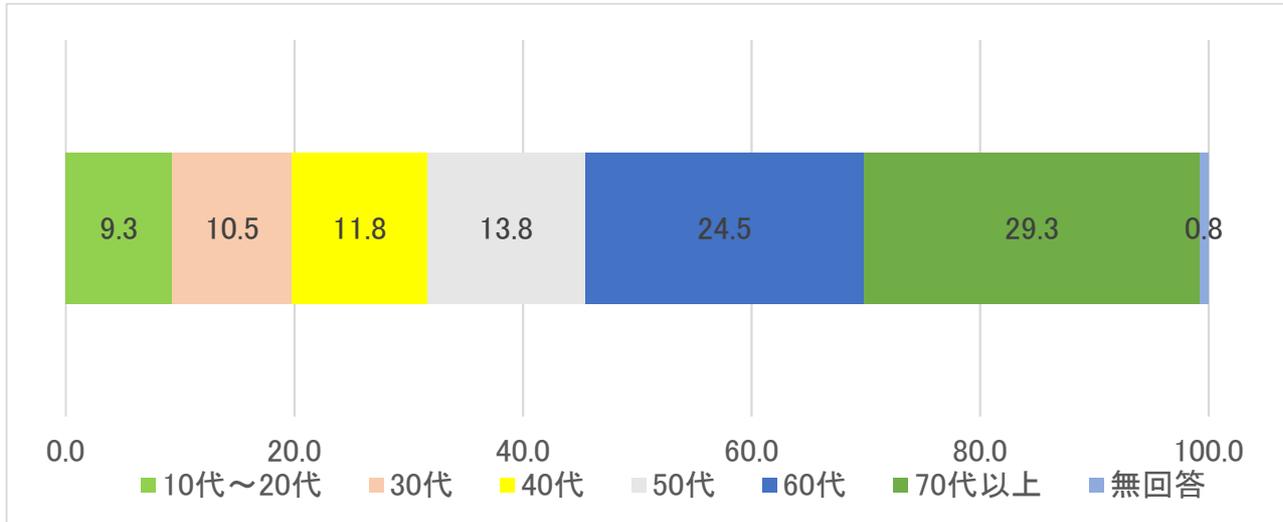
## Ⅱ 調查結果



## 1. アンケート回答結果

### Q1 あなたの年齢を教えてください

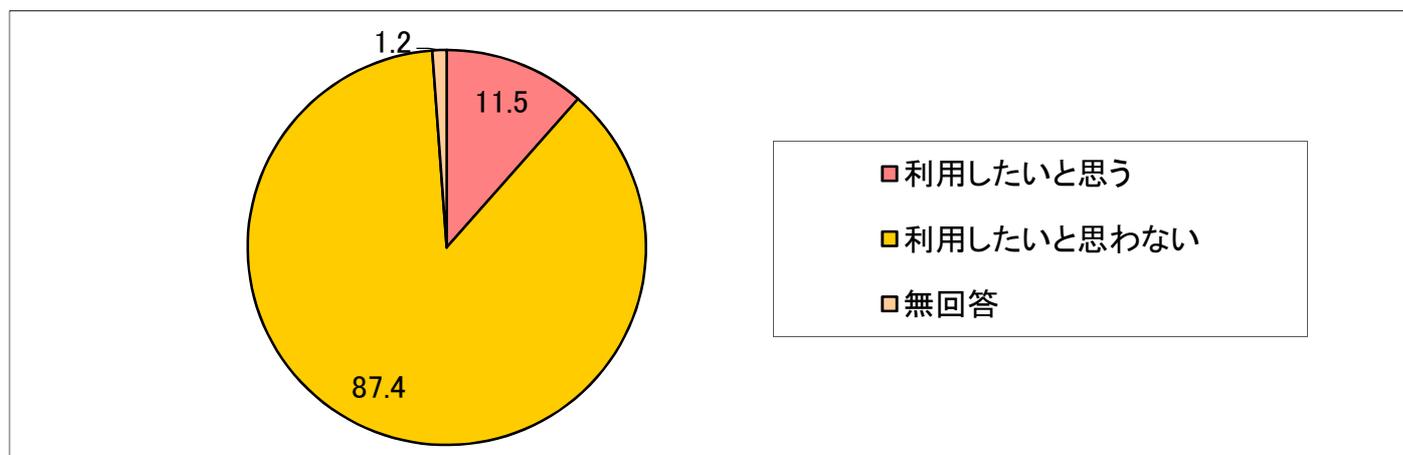
「70歳以上」が29.3%で最も多く、「18～29歳」が9.3%で最も少なくなっています。



カテゴリ	実数	%
10代～20代(18歳～29歳)	48	9.3
30代(30歳～39歳)	54	10.5
40代(40歳～49歳)	61	11.8
50代(50歳～59歳)	71	13.8
60代(60歳～69歳)	126	24.5
70代以上(70歳～89歳)	151	29.3
無回答	4	0.8
サンプル数 (% ベース)	515	100

Q2 現在の老朽化した3か所の老人憩の家について、あなたは、今後利用したいと思いますか  
「利用したいと思わない」と回答した人が全体の87.4%を占めており、現在の老人憩の家  
に関して、住民の利用ニーズが低いことがわかります。

⇒9割近くの住民が、現在の老人憩の家を利用したいと思っていません。



カテゴリ	実数	%
利用したいと思う	59	11.5
利用したいと思わない	450	87.4
無回答	6	1.2
サンプル数 (% ベース)	515	100

### ⇒Q1×Q2 のクロス集計

Q1 とのクロス集計の結果、全ての世代において「利用したいと思わない」と回答した人の方が多くなりました。「利用したいと思う」と回答した人の割合が最も多い70歳以上の年齢層でも、8割以上の人々が「利用したいと思わない」と回答していることがわかります。

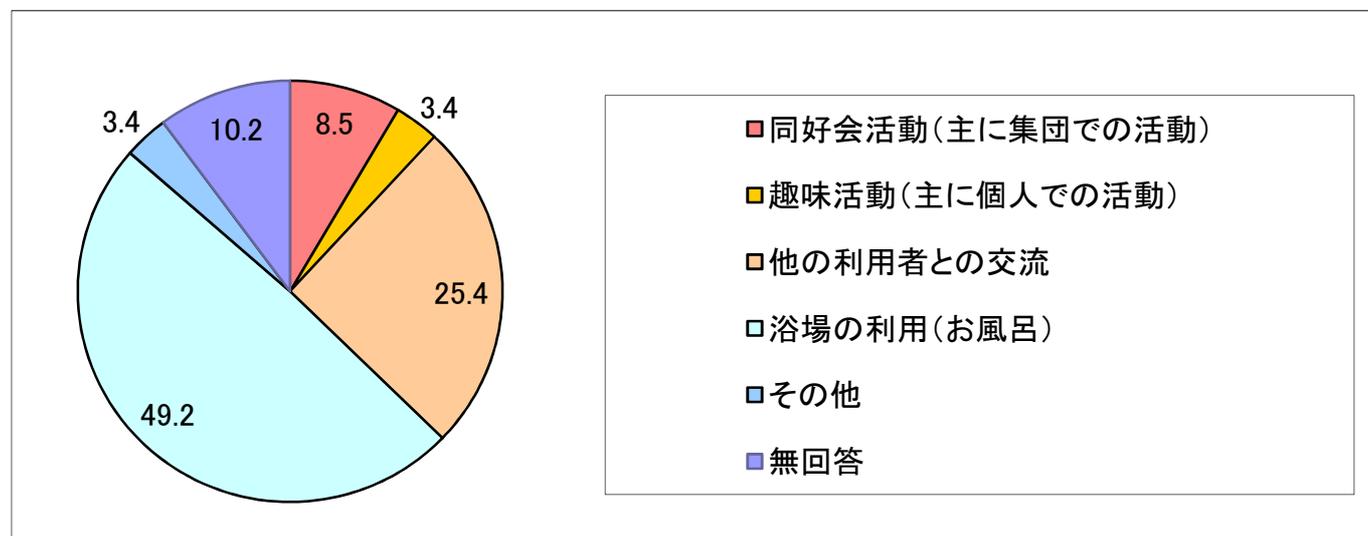
	全体	利用したいと思う	利用したいと思わない	無回答
全体	515 人	59 人(11.5%)	450 人(87.4%)	6 人( 1.2%)
10代~20代	48 人	5 人(10.4%)	43 人(89.6%)	0 人( 0.0%)
30代	54 人	5 人( 9.3%)	48 人(88.9%)	1 人( 1.9%)
40代	61 人	2 人( 3.3%)	58 人(95.1%)	1 人( 1.6%)
50代	71 人	9 人(12.7%)	61 人(85.9%)	1 人( 1.4%)
60代	126 人	12 人( 9.5%)	114 人(90.5%)	0 人( 0.0%)
70代以上	151 人	25 人(16.6%)	126 人(83.4%)	0 人( 0.0%)
無回答	4 人	1 人(25.0%)	0 人( 0.0%)	3 人(75.0%)

### Q3 利用にあたって期待することを教えてください

#### ※Q2で「利用したいと思う」と回答した人への設問

現在の老人憩の家に期待される機能としては、「浴場の利用」が半数近い 49.2%を占めており、次いで「他の利用者との交流」が 25.4%となっています。

⇒現在の老人憩の家の利用目的は、半数以上が「浴場の利用」となりました。



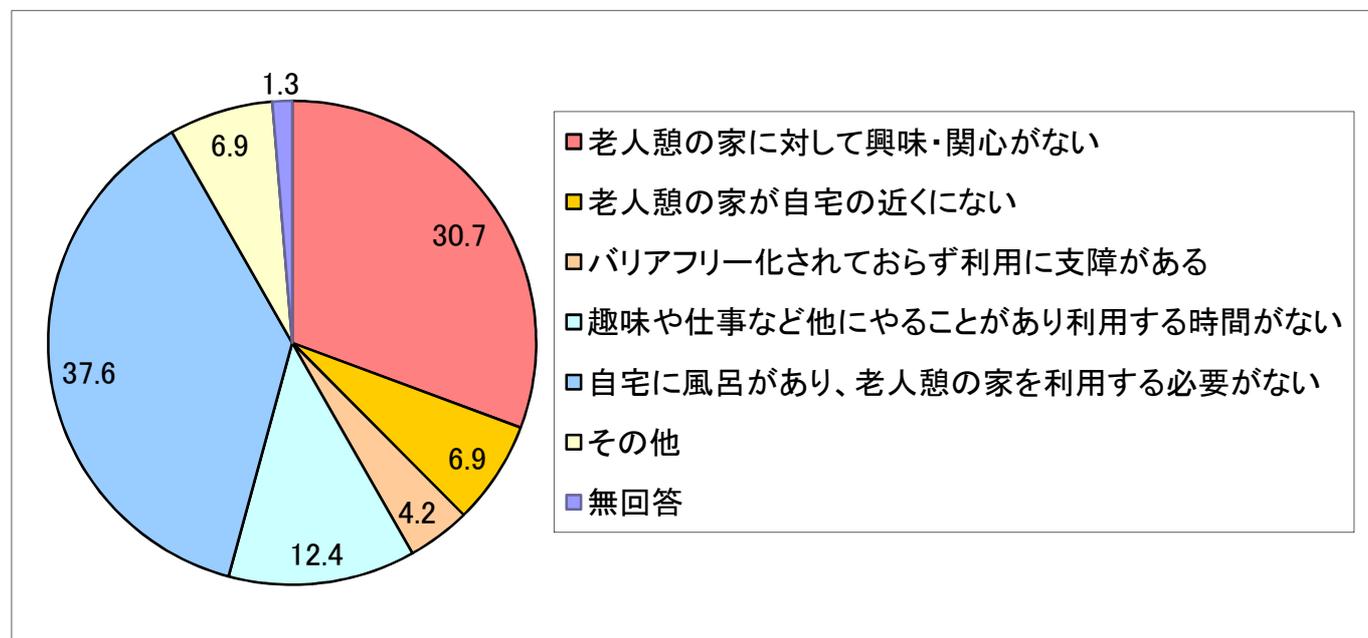
カテゴリ	実数	%
同好会活動(主に集団での活動)	5	8.5
趣味活動(主に個人での活動)	2	3.4
他の利用者との交流	15	25.4
浴場の利用(お風呂)	29	49.2
その他	2	3.4
無回答	6	10.2
サンプル数 (% ベース)	59	100

#### Q4 利用したいと思わない理由は何ですか

##### ※Q2で「利用したいと思わない」と回答した人への設問

「自宅に風呂があり、老人憩の家を利用する必要がない」と回答した人が37.6%と最も多く、次いで「老人憩の家に対して興味・関心がない」との回答が30.7%となっています。

⇒多くの住民にとって、現在の老人憩の家の存在意義は薄いと考えられます。



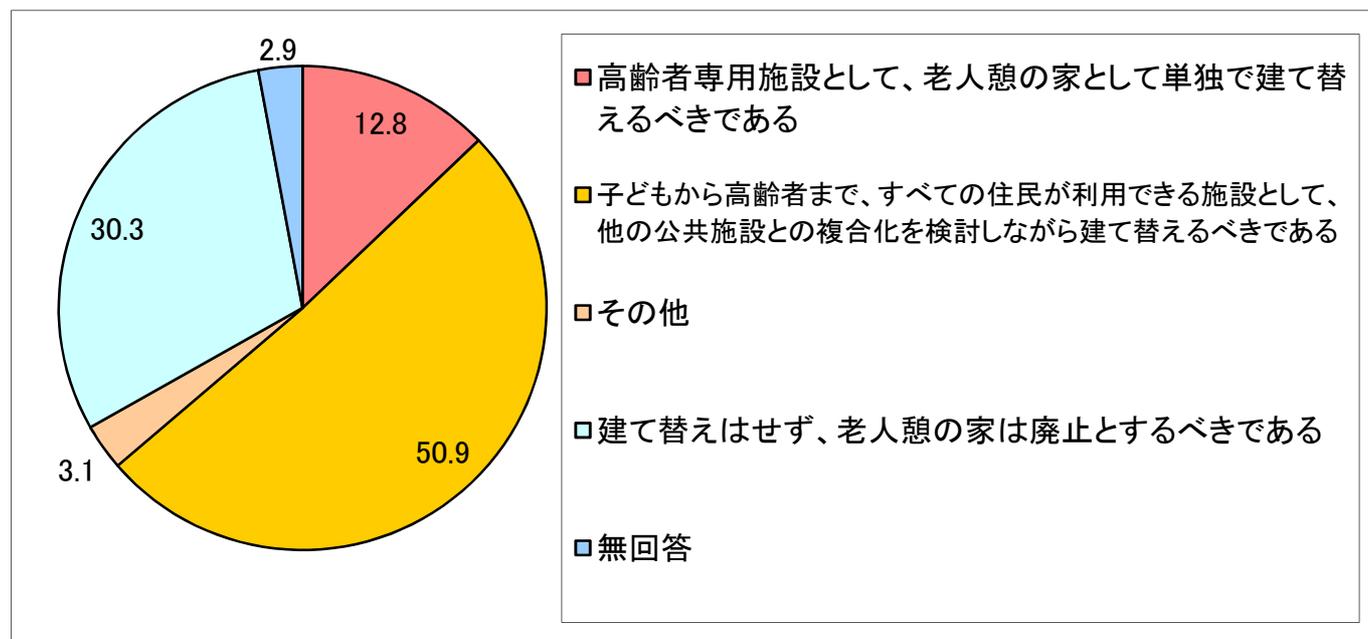
カテゴリ	実数	%
老人憩の家に対して興味・関心がない	138	30.7
老人憩の家が自宅の近くにない	31	6.9
バリアフリー化されておらず利用に支障がある	19	4.2
趣味や仕事など他にやることもあり利用する時間がない	56	12.4
自宅に風呂があり、老人憩の家を利用する必要がない	169	37.6
その他	31	6.9
無回答	6	1.3
サンプル数 (% ベース)	450	100

**Q5 老人憩の家の今後のあり方を見直す場合、あなたの意見に最も近いものを教えてください**

「子どもから高齢者まですべての住民が利用できる施設として、他の公共施設との複合化を検討しながら建て替えるべきである」と回答した人が50.9%と約半数にのぼり、次いで「建て替えはせず、老人憩の家は廃止とするべきである」との回答が30.3%ありました。

一方で、現在の憩の家と同じ「高齢者専用施設」を望む回答は12.8%にとどまっています。

⇒設置から50年近く経過し、現状の老人憩の家という存在が、住民ニーズから離れてしまっていると考えられます。



カテゴリ	実数	%
高齢者専用施設として、老人憩の家として単独で建て替えるべきである	66	12.8
子どもから高齢者まで、すべての住民が利用できる施設として、他の公共施設との複合化を検討しながら建て替えるべきである	262	50.9
その他	16	3.1
建て替えはせず、老人憩の家は廃止とするべきである※	156	30.3
無回答	15	2.9
サンプル数 (% ベース)	515	100

※「建て替えはせず、老人憩の家は廃止とするべきである」と回答した人は、このQ5で回答終了。以後の設問へは回答しません。

⇒Q1×Q5 のクロス集計

全ての世代において「多世代利用可能・複合化」の選択肢を選んだ人の割合が最も多く、次いで「施設廃止」の選択肢を選んだ人が2番目に多くなっており、世代間で考え方に大きなばらつきは見られません。

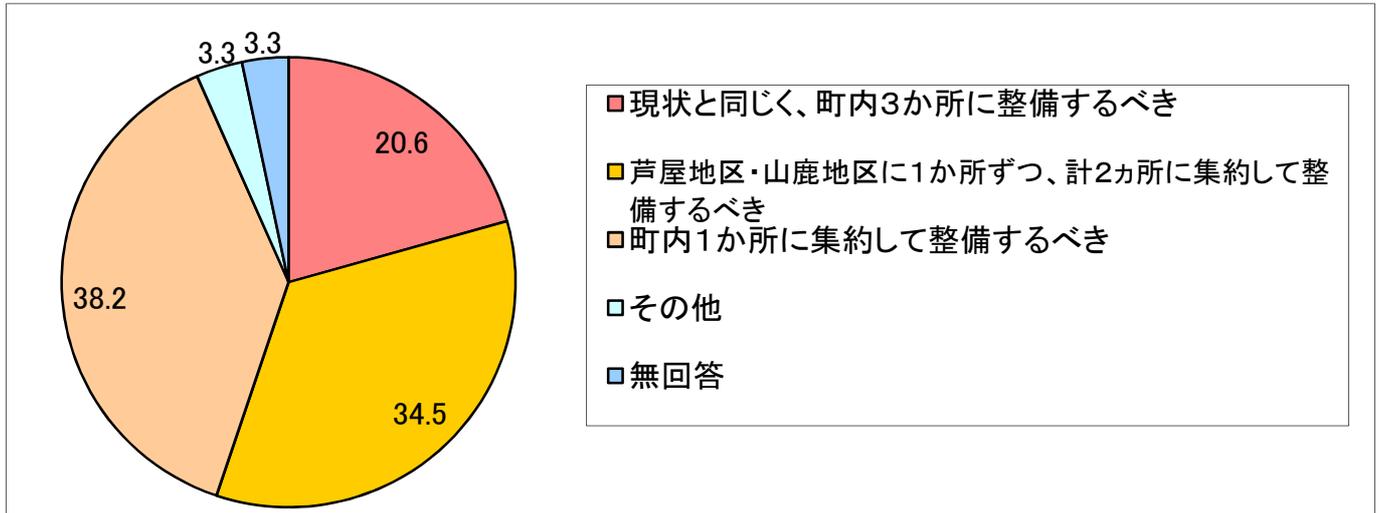
70 歳以上の回答をみると、「高齢者専用施設」の選択肢を選んだ人が他の世代よりは多くなっていますが、「施設廃止」の選択肢を選んだ人の方が上回っています。

	全体	高齢者専用施設として、老人憩の家として単独で建て替えるべきである	子どもから高齢者まで、すべての住民が利用できる施設として、他の公共施設との複合化を検討しながら建て替えるべきである	その他	建て替えはせず、老人憩の家は廃止とするべきである	無回答
全体	515 人	66 人(12.8%)	262 人(50.9%)	16 人(3.1%)	156 人(30.3%)	15 人(2.9%)
10～20 代	48 人	2 人( 4.2%)	27 人(56.3%)	3 人(6.3%)	14 人(29.2%)	2 人(4.2%)
30 代	54 人	7 人(13.0%)	27 人(50.0%)	2 人(3.7%)	17 人(31.5%)	1 人(1.9%)
40 代	61 人	5 人( 8.2%)	39 人(63.9%)	0 人(0.0%)	17 人(27.9%)	0 人(0.0%)
50 代	71 人	9 人(12.7%)	41 人(57.7%)	2 人(2.8%)	17 人(23.9%)	2 人(2.8%)
60 代	126 人	7 人( 5.6%)	66 人(52.4%)	4 人(3.2%)	48 人(38.1%)	1 人(0.8%)
70 代以上	151 人	34 人(22.5%)	61 人(40.4%)	4 人(2.6%)	43 人(28.5%)	9 人(6.0%)
無回答	4 人	2 人(50.0%)	1 人(25.0%)	1 人(25.0%)	0 人( 0.0%)	0 人(0.0%)

Q6 既存の建物を建て替える事になった場合に、町内に何か所の施設を整備するのが妥当だと思いますか

「町内1か所に集約して整備するべき」と回答した人が38.2%で最も多く、次いで「芦屋地区・山鹿地区に1か所ずつ、計2か所に集約して整備するべき」と回答した人が34.5%と、施設数の削減を求める意見が7割を超えています。

⇒現状3か所の老人憩の家は、住民意識と比べてやや過剰な配置と考えられます。



カテゴリ	実数	%
現状と同じく、町内3か所に整備するべき	74	20.6
芦屋地区・山鹿地区に1か所ずつ、計2か所に集約して整備するべき	124	34.5
町内1か所に集約して整備するべき	137	38.2
その他	12	3.3
無回答	12	3.3
サンプル数 (% ベース)	359	100

### ⇒Q1×Q6 のクロス集計

40代以上では、「町内1カ所」の選択肢を選んだ人の割合が最も多く、次いで「町内2カ所」となっていますが、10～20代では、この順番が入れ替わっています。

また、30代では、10代～20代と同じく「町内2カ所」を選んだ人の割合が最も多くなっていますが、2番目に「町内3カ所」の回答が続いています。

30代を除いて、現在の施設数からの削減を求める回答が上位を占めています。

	全体	現状と同じく、町内3カ所に整備すべき	芦屋地区・山鹿地区に1カ所ずつ、計2カ所に集約して整備すべき	町内1カ所に集約して整備すべき	その他	無回答
全体	359人	74人(20.6%)	124人(34.5%)	137人(38.2%)	12人(3.3%)	12人(3.3%)
10代～20代	34人	9人(26.5%)	13人(38.2%)	11人(32.4%)	0人(0.0%)	1人(2.9%)
30代	37人	11人(29.7%)	13人(35.1%)	10人(27.0%)	1人(2.7%)	2人(5.4%)
40代	44人	4人(9.1%)	17人(38.6%)	22人(50.0%)	1人(2.3%)	0人(0.0%)
50代	54人	9人(16.7%)	16人(29.6%)	26人(48.1%)	2人(3.7%)	1人(1.9%)
60代	78人	16人(20.5%)	28人(35.9%)	29人(37.2%)	3人(3.8%)	2人(2.6%)
70代以上	108人	24人(22.2%)	35人(32.4%)	38人(35.2%)	5人(4.6%)	6人(5.6%)
無回答	4人	1人(25.0%)	2人(50.0%)	1人(25.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)

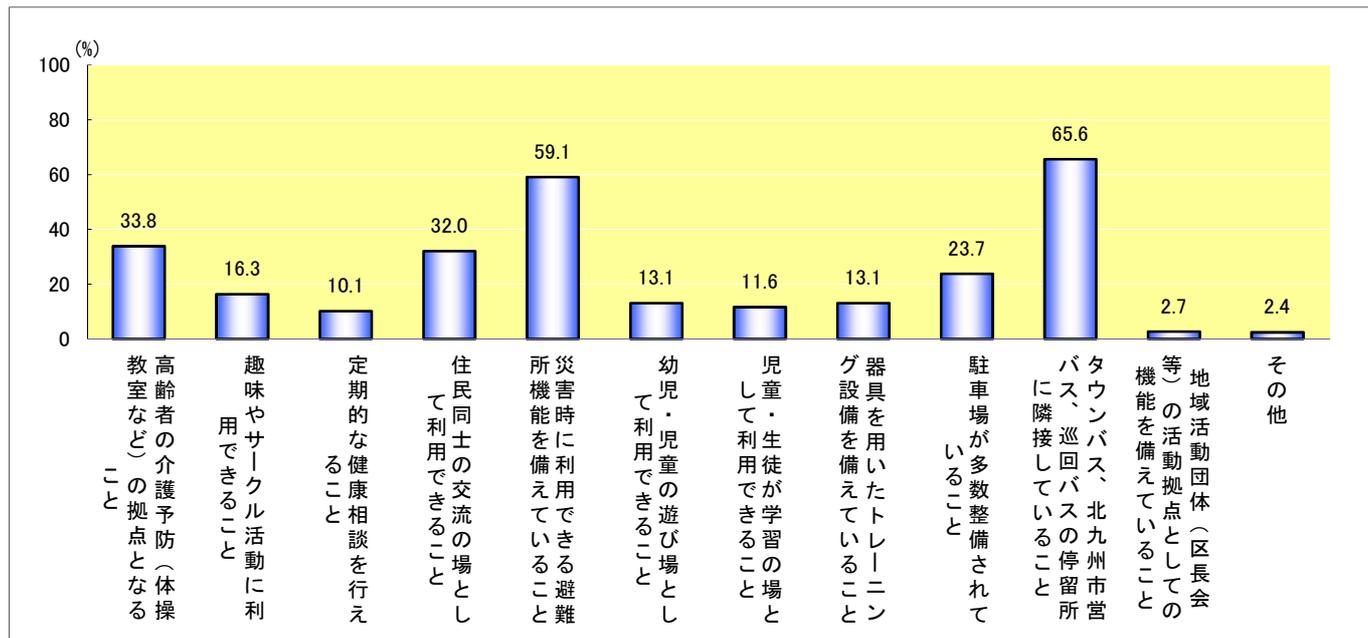
**Q7 既存の建物を建て替えることになった場合に、新しい施設に必要なと思う機能や設備を、次の中から選んでください（複数回答：3つまで）**

「各種バス停に隣接」、「災害時の避難所機能」など、施設の基幹機能ではなく周辺機能への期待を表す選択肢を選んだ人が多くなっています。

基幹機能としては、「高齢者の介護予防拠点」及び「住民同士の交流の場」としての機能を望む声が多くなっています。

なお、世代間で回答傾向に大きな差異は見られませんでした。

⇒老人憩の家という狭い視点ではなく、公共施設全体の視点に立った回答が目立ちます。これは、Q5で多世代利用型の複合施設を望む回答が多くなったことと整合が取れます。



カテゴリ	実数	%
高齢者の介護予防(体操教室など)の拠点となること	114	33.8
趣味やサークル活動に利用できること	55	16.3
定期的な健康相談を行えること	34	10.1
住民同士の交流の場として利用できること	108	32.0
災害時に利用できる避難所機能を備えていること	199	59.1
幼児・児童の遊び場として利用できること	44	13.1
児童・生徒が学習の場として利用できること	39	11.6
器具を用いたトレーニング設備を備えていること	44	13.1
駐車場が多数整備されていること	80	23.7
タウンバス、北九州市営バス、巡回バスの停留所に隣接していること	221	65.6
地域活動団体(区長会等)の活動拠点としての機能を備えていること	9	2.7
その他	8	2.4

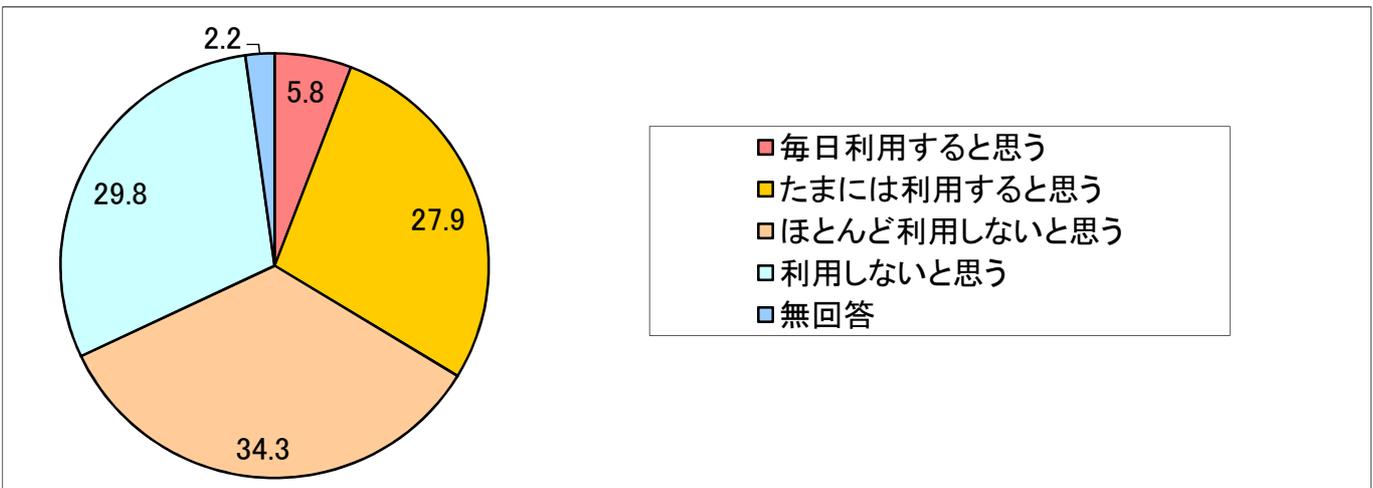
**Q8 今後、町が新しく施設を整備するにあたって、日常の入浴で利用するための浴場を整備した場合、あなたは利用しますか**

「毎日利用すると思う」、「たまには利用すると思う」という利用に肯定的な回答は、合わせて33.7%の回答にとどまった一方、「利用しないと思う」・「ほとんど利用しないと思う」と利用に否定的な回答は、合わせて64.1%に上りました。

なお、参考として「たまには利用する」と回答した人に、利用頻度を聞いたところ、週1回から月1回程度との回答が大半を占めていました。

また、「毎日利用すると思う」、「たまには利用すると思う」という回答の中には、レジャーとしての入浴（温泉やスーパー銭湯など）を想定していると思われる回答が含まれることに注意が必要です。

⇒日常の入浴に利用すると回答した人の割合が1割以下であることから、現在の老人憩の家に設置されている、銭湯的な浴場の必要性は薄れていると考えられます。



カテゴリ	実数	%
毎日利用すると思う	21	5.8
たまには利用すると思う	100	27.9
ほとんど利用しないと思う	123	34.3
利用しないと思う	107	29.8
無回答	8	2.2
サンプル数 (% ベース)	359	100

◆「毎日利用すると思う」・「たまには利用すると思う」と回答した理由(主要意見抜粋)

- ・レジャーとしての入浴・・・・・・・・・・・・・・・・（39人）
- ・他者との交流・・・・・・・・・・・・・・・・（27人）
- ・経済的・身体的負担の軽減・・・・・・・・・・・・・・・・（16人）

◆「ほとんど利用しないと思う」・「利用しないと思う」と回答した理由(主要意見抜粋)

- ・自宅に風呂があるから・・・・・・・・・・・・・・・・（91人）
- ・他人の目が気になる、他人と一緒に入浴したくない・・・・・・・・（27人）
- ・衛生面が気になる（新型コロナウイルス関連の不安含む）・・・・（11人）